

令和2年度三次市学力到達度検査結果分析及び指導改善計画

三次市立吉舎小学校

1 国 語

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題			【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組	
	目標	結果			
第1学年	思考判断表現	3.0	-9.8	○文章を読んだり書いたりすることに抵抗感はなくなった。漢字の読み書きに取り組んだ。 ●「ことばの学しゅう」「はなしを聞き取る」に課題がある。領域では「話すこと・聞くこと」観点では「思考・判断・表現」に課題がある。	・「聞く」「話す」「書く」力を確実に定着させるよう授業改善を図る。 ・班でお話タイムを設け、お互いに話をして質問をし合う。 ・放送など話を聞いた後に、内容を質問する。 ・文章の読み取り問題をドリルタイムに取り組む。 ・言葉のスキルをドリルタイムに取り組む。 ・活動の反省や感想など、文章を書く機会を多く持つ。
	知識技能	3.0	-6.7		
第2学年	思考判断表現	3.0	3.1	○行事や授業の感想や振り返りを書く活動に取り組み、経験・想像したことの中から書くことを決め、文章を書く力をつけることが出来た。 ●漢字の読み書きに課題がある。	・(漢字) 同音の漢字の使い分けに課題がある。漢字の形だけではなく、その漢字が持つ意味や、漢字を使った熟語づくりを行っていく。 ・物語や説明文を短時間で読み取る活動を繰り返し行う。 ・「話す・聞く」力をつけるために、聞くときの姿勢を整え、大事なことを聞き逃さないように反応しながら聞く。 ・文のまとまりに気をつけて的確な接続詞をつかい、事柄の順序に気をつけながら書くことが出来るようにする。 ・視写や書く活動を取り入れて、書くことへの抵抗を無くす。
	知識技能	3.0	-7.2		

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題			【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる児童の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組	
	目標	結果				
第3学年	思考判断表現	3.0	2.8	○活用問題の正答率は目標値を上回っている。 ●文章を正確に読み取ることができず、内容を理解できていない。読解力に課題がある。 ●「書く」ことに苦手意識をもつ児童が多い。	・国語の勉強が好き、わりと好きと肯定的に答えた児童が100%だった。 ・自分の思っていることや、考えていることを、まわりの人にあまり話さないと答えた児童が40.0%いる。	・ドリルタイムを使い、読解問題に取り組ませる。 ・視写をさせたり手本になる作文を紹介したりして、テーマに沿った文章を書けるように指導する。
	知識技能	3.0	-0.2			
第4学年	思考判断表現	5.0	11.4	○小テストや反復練習などで新出漢字が定着した。 ●登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に考えたり、文章を読んで感じたことを共有したりすることに課題がある。	・「国語の勉強は好きですか。」という項目では93.8%の児童が肯定的な評価をしている。「自分の思っていることや、考えていることを、周りに話しますか。」の項目では否定的な評価が全国平均よりやや高い。	・文章を読む際に、登場人物の行動や気持ちがわかる部分に線を引くなど習慣化させる。 ・文章を読んで感じたことなどをグループで共有する場を積極的に授業内に取り入れる。
	知識技能	5.0	11.6			
第5学年	思考判断表現	5.0	7.3	○継続的にテーマを決めて文章を書かせることで、書く力が付いている。 ●登場人物の行動や様子について、描写を基に捉えることができていたが、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることに課題がある。	・わからない言葉が出てきたら、国語辞典で調べる、ときどき調べると回答した児童が66.7%いる。 ・自分の思っていることや考えていることを、周りに人にあまり話さないと回答した児童が46.7%いる	・音読や視写を繰り返し取り組むことで文章を読むことや言語についての知識の定着を図っていく。 ・朝会時などで、自分の感じていることを発表する時間を設け、話すことに慣れさせていく。
	知識技能	5.0	14.8			
第6学年	思考判断表現	5.0	12.3	○全国及び市平均を上回り、大変良好な状況である。 ●目的に応じて文章を要約して書く力に課題が見ら	・国語が好きな児童は20%である。 ・自分の考えを話すことに対する意欲が低い児童が多い。	・新聞記事や写真、パンフレット等から自分の興味をもった記事を扱うなどして、学習に意欲をもたせる。
	知識技能	5.0	12.3			

	知識技能	5.0	12.3	れる。		<ul style="list-style-type: none"> 与えられた文章を目的に応じて要約することや、文章の内容について自らの考えを整理し、筋道を立てて話したりする活動を取り入れる。
全体	○4年生以上は、全国平均及び市平均を上回り、目標値も上回って達成している。 ●第1学年の言葉の力や表現する力に課題が大きい。 ●目的に応じてまとまった文章を書く力に課題がある。			・自分の考えを話すことに消極的な児童が多い。	・文章を読んで感じたことなどをグループで共有したり、テーマを与え考えたことをスピーチしたりする場を設定する。 ・手本になる作文を視写したり、与えられた文章を要約したりするなど、目的に応じてまとまった文章を書く活動を取り入れる。	

三次市立吉舎小学校

2 算 数

学年	【教科指導について】			【教科指導工夫改善の具体】
	〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題			
第1学年	目標	結果	○ドリル学習に取り組み、基礎的な問題はだいたいできている。 ●文章を読んで問題を解く、活用問題に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 問題の考え方をノートに書いたり、説明したりすることに取り組む。 ドリルタイムに活用問題に取り組む。 基礎的な問題に継続して取り組む。
	思考判断表現	3.0		
第2学年	知識技能	3.0	2.6	<ul style="list-style-type: none"> 他教科との関連や日常生活での活用を図り、量感を養う。 問題文と式を照らし合わせ、問題を絵や図、言葉で説明する活動を増やす。 活動と学習内容を結び付ける段階を、スモールステップで行う。
	思考判断表現	3.0	6.5	
第2学年	知識技能	3.0	1.1	○授業外でも、計算練習に取り組み、基礎的な計算の技能を高めた。 ●身近にあるもののかさに使われる適切な単位についての理解に課題があり、日常生活の中で様々な単位が使われることに気付けるようにする。
	思考判断表現	3.0	6.5	

学年	【教科指導について】			【学習に対する意識について】	【教科指導工夫改善の具体】
	〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題				
第3学年	目標	結果	○全体的によくできている。 ○基礎的な計算のやり方を理解している。 ●「長さ・重さ」の問題に課題がある。適切な単位を使うことができていない児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 算数の勉強が好き、わりと好きと肯定的に答えた児童が100%だった。 問題が解けたとき、違う解き方が他にないかを考えない児童が26.6%いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を生活と結びつけて考えさせることに取り組む。 問題解決のときに、図・式・言葉など多様な考え方ができるように習慣化する。 算数用語を使って、説明できるようにしていく。
	思考判断表現	3.0			
第4学年	知識技能	3.0	13.3	<ul style="list-style-type: none"> 「算数の勉強は好きですか。」という項目への否定的な評価の割合が31.3%と全国平均を上回っていた。いろいろな考え方を発表し合うことが好きと答える児童は全国平均を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位換算表を作成することや、図で視覚化するなど単位換算についてイメージをもちやすくする。 授業内で児童同士が思考を共有できる場を積極的に取り入れる。
	思考判断表現	5.0	22.9		
第4学年	知識技能	5.0	19.9	○授業の最後に練習問題を行うことで、4学年算数の基礎が定着している。 ●小数の内容において、小数を用いた長さの単位換算に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題など、関係図や線分図を使用して問題を解き、思考を深めさせる。
	思考判断表現	5.0	5.8		
第5学年	目標	結果	○ドリルタイム等で計算練習や体積を求める問題を繰り返し行ったことで力が付いている。	<ul style="list-style-type: none"> 算数の勉強が好き、わりと好きと肯定的に答えた児童が86.7%いる。 問題が解けた時、別の解き方 	
	思考判断表現	5.0			

	知識技能	5.0	7.3	●単位量あたりの大きさ、混み具合を考察することに課題がある。	をあまり考えない、考えない児童が26.7%いる。	
第6学年		目標	結果	○全国及び市平均を上回り、大変良好な状況である。 ●自分の考えを言葉や式を使って表現する力に課題が見られる。	・多様な解き方をしようという意欲が低い。 ・間違いの理由を追究し、改善しようとする意欲が低い。	・自分の考えを記述するときのポイントを指導し、どの単元でも記述式の問題を作成して解かせる。 ・多様な考え方をすることの良さを実感させ、常に違う解き方をしようとする意欲を高める。
	思考判断表現	5.0	12.3			
	知識技能	5.0	13.0			
全体	○全学年で全国平均を上回っている。 ○目標値も概ね上回って達成した。 ●自分の考えを言葉や式を使って適切に表現する力に課題が見られる。				・多様な解き方をしようとしたり、間違えた理由を追究し改善しようとしたりする意欲が低い。	・適切な算数用語を用いて、図と式を結び付けながら説明する活動を多く取り入れる。 ・各学年で、知識及び技能の定着に課題がある単元の指導の課題を分析し改善する。 ・多様な考え方をすることの良さを実感させ、常に違う解き方をしようとする意欲を高める。 ・テストで間違えた問題について間違えた理由や正しい解き方を説明させるなど、間違い直しを丁寧にする。

三次市立吉舎小学校

3 社会

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題			【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる児童の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組	
	目標	結果				
第3学年	思考判断表現	3.0	3.3	○基礎的な知識については概ね定着している。 ●絵と地図を関連させたり、課題を見つけたりすることに苦手意識があり、実際の様子を考え判断することに課題がある。 ●資料を読み取ることに課題がある児童がいる。	・社会の勉強が好き、わりと好きと肯定的に答えた児童が93.3%だった。 ・社会の勉強をして、不思議だなと思ったことがあったとき、あまり調べないと答えた児童が26.7%いる。	・必要な情報や資料を選択し、まとめたり、説明したりする力を養う。 ・いろいろな資料について読み取るスキルに取り組み、思考が深まるように指導する。
	知識技能	3.0	5.7			
第4学年	思考判断表現	5.0	5.7	○資料を基に自ら疑問を発見し、解決する学習を通して、資料の読み取り方は定着している。 ●「くらしをささえる水」において、浄水場の役割や、水の使用量について考えることに課題がある。	・学校周りや、町の様子の探検が楽しいと答える児童が100%であった。しかし、探検の結果についてみんなで発表し合うことが好きかと問われると肯定的な評価の割合がかなり下がっている。	・今年に浄水場へ社会見学に行くことができなかったため、動画を見ることや実際に話を聞くことなどでイメージをもちやすくする。 ・グラフの読み取り方の指導を充実させる。
	知識技能	5.0	14.4			
第5学年	思考判断表現	5.0	-3.3	○海外や日本の川の特徴について地図等を使って学習したことで、日本の川の特徴について理解している。 ●自動車の関連工場の理解をもとに資料を読み取ることに課題がある。	・社会の勉強をして、新聞を読んだり、ニュースを見たりするようになったと肯定的に答えた児童が66.7%いる。 ・歴史上の人物やできごとをあつかっている本を読むことがあまり好きではない、きらいと答えた児童が46.7%いる。	・グラフや表など複数の資料を提示し、知識を確かなものにしていく。 ・複数の資料から読み取れる成果や課題等を考える学習を仕組んでいく。
	知識技能	5.0	-1.5			
第6学年	目標	結果	○全国及び市平均を上回り、大変良好な状況である。 ●歴史を概観し特徴をまとめ表現する力を付ける。	・社会の勉強が好きでない児童が30%いる。 ・歴史上の人物や出来事を扱っている本を読むことが好きでない児童が半数以上いる。	・歴史的事象のつながりを意識させるとともに、時代の特徴をまとめ表現する活動を取り入れる。 ・歴史に関連した本を教室に置	
	思考判断表現	5.0				6.9

	知識技能	5.0	10.0			いたり紹介したりするなど、歴史書に親しめる環境を整える。
全体	○どの学年も全国平均を上回った。 ●第5学年の内容の定着に課題がある。 ●資料の読み取りに課題がある。				・社会的事象や歴史に興味をもち自ら進んで調べようとする意欲が低い。	・資料の読み取り方についての学年も共通の指導を行う。 ・「比較」「関連」「総合」の思考ツールを用い、社会的事象について考察することの楽しさを味わわせる。 ・各学年で、知識及び技能の定着に課題がある単元の指導の課題を分析し改善する。 ・家庭学習での予習、復習や、データベースのプリントなどを活用し、より確実な内容の定着を図る。

三次市立吉舎小学校

4 理科

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題				【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる児童の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
		目標	結果			
第3学年	思考判断表現	3.0	12.8	○全国及び市平均を上回り、大変良好な状況である。 ●昆虫の成長の順序や幼虫とさなぎの様子の理解に課題がある。また、太陽の動きや方位の理解に課題があり、理解したことをもとに説明することができていない。	・理科の勉強で、観察をすることが好き、わりと好きと答えた児童が93.3%だった。 ・自然や理科についての読み物や、図鑑、テレビ番組をあまり見ないと答えた児童が40.0%いる。	・観察や実験など、体験活動を通し、見通しを持たせ考察ができるように指導を工夫する。 ・図鑑などを活用させ、調べたことをまとめていく力を付ける。
	知識技能	3.0	4.8			
第4学年	思考判断表現	5.0	14.8	○実験結果を比較する指導を通して、グラフから2つの物事の関係性を見つける力が付いている。 ●「雨水のゆくえと地面のようす」では、水のしみこみ方と土の粒の大きさの関係について考察することに課題がある。	・理科の勉強が好きと答える児童が100%であった。 ・疑問を自分で調べないと答える児童が全国平均に近い値を占めており、自発的な学習が必要である。	・実験をうまく用いて水のしみこみ方や土の粒の大きさなど関係についての理解を深める。 ・児童が実験結果を予想する時間を十分に取って、見通しをもって実験に取り組めるようにする。
	知識技能	5.0	9.6			
第5学年	思考判断表現	5.0	7.2	○台風の発生するところや進路の特徴についてICTを活用して学習することにより、「天気の変化」の単元がよくできている。 ●「植物の発芽と成長」の単元で条件を変えて育てた後の植物の様子や防草シート役割を理解することに課題がある。	・理科の勉強が好き、わりと好きと肯定的に答えた児童が100%である。 ・自然や理科についての読み物や図鑑、テレビ番組などを見ない、あまり見ない児童が46.7%いる。	・実験や観察に興味を持っているので、科学的な活動を通して観察や実験の技能を高めていく。 ・探究的な学習を行い、自ら課題を持って調べる学習を進めていく。
	知識技能	5.0	5.0			
第6学年	思考判断表現	5.0	4.8	○全国及び市平均を上回り、大変良好な状況である。 ●課題を解決するための実験方法を構想する力が付いていない。	・分からない事や、興味関心をもった事をあまり調べない児童が40%いる。 ・自然や理科についての読み物や図鑑、テレビ番組などをあまり見ない・見ない児童が半数以上いる。	・実験器具の使用法の理解を確実にする。 ・課題を解決するための実験方法を考える活動を大切にする。 ・理科の授業は好きであるが、興味をもつ児童は少ないため、様々な自然事象・現象等を紹介して興味を高めるとともに、それらを調べる活動を取り入れる。
	知識技能	5.0	9.8			

全体	<p>○どの学年も、全国平均及び市平均を上回っている。 ○どの学年も、目標値と同等か上回って達成している。 ●実験器具の名称や正しい使い方の理解に課題がある。 ●課題を解決するための実験方法を構想する力が付いていない。</p>	<p>・自然や理科について興味関心をもって本を読んだりテレビを見たりする児童が少ない。 ・疑問に思ったことを調べようとする意欲が低い。</p>	<p>・各学年で、知識及び技能の定着に課題がある単元の指導の課題を分析し改善する。 ・実験器具の名称や正しい使い方については理科室に掲示して繰り返し指導し、確実な定着を図る。 ・課題を解決するための実験方法を構想する時間を大切に作る。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

三次市立吉舎小学校

5 生活と学習に関する意識・実態

学年	<p>○一層定着させたい点 ●改善したい点</p>	課題に対する具体的な取組
第2学年	<p>○「学校に行くのが楽しい」「勉強が好き」「学校の授業は楽しい」児童が100%であった。 ○本が好きな児童が多く、ほとんどの児童が1か月に4冊以上の本を読んでいる。 ●問題のたしかめをする児童の割合が75%で少ない。</p>	<p>・「わかる・できる」授業と課題解決型学習の充実に向けて、授業準備に集中する。 ・テストの時間を中心に、問題のたしかめをする習慣をつけさせる。</p>
第3学年	<p>○学校に行くのは楽しい、わりと楽しいと肯定的に答えた児童と、学校の授業はよくわかる、だいたいわかると肯定的に答えた児童は100%だった。 ●朝、起こしてもらおうことが多いと答えた児童が40%、夜、おそくまで起きていることがときどきあると答えた児童が60%だった。 ●自分の思っていることや、考えていることを、周りの人にあまり話さないと答えた児童が40%いる</p>	<p>・家庭と連携をとりながら、基本的な生活習慣の定着に努める。 ・自分の思いや考えを発表できるように、ペアやグループで話し合いをさせてから、全体で発表できるようにしていく。できたときには何が良かったのか具体的に伝えるなど肯定的評価をしていく。 ・引き続き、家庭・自主学習で基礎学力の定着を図る。</p>
第4学年	<p>○学校の授業が楽しいと答える児童が100%であり、授業に意欲的に取り組んでいる。 ●授業中で分からないことがあったらそのままにしておくか答える児童が12.5%おり、分からないことを放置してしまう児童がいる。 ●就寝時刻が遅くなる時がある児童が75.1%おり、生活習慣に課題がある。</p>	<p>・教師が児童との信頼関係を築き、学習について相談しやすい雰囲気をつくる。 ・授業を行った後に練習問題に取り組むなど、学習内容の定着に力を入れる。 ・家庭内の生活リズムを学校が把握し改善できるように家庭と連携をとる。</p>
第5学年	<p>○勉強は大切だと思う児童が多い。 ●宿題がある時だけ家で勉強をする児童が多い。</p>	<p>・児童一人ひとりに目標をもたせ、意欲的に学習できるようにする。 ・宿題がなくても自ら課題を決めて取り組めるようにする。</p>
第6学年	<p>○「勉強は大切だと思う」児童が100%である。 ○「学校の授業はよく分かる」児童が89.5%である。 ●「勉強があまり好きでない」児童が半数以上いる。 ●「宿題が無くても毎日勉強する」児童が10.5%しかいない。</p>	<p>・勉強は大切だとは思っているが、勉強が嫌いという児童が約半数である。勉強の目的や達成感が感じられるように、日々の授業や家庭学習を工夫する。</p>
全体	<p>○学校に行くのは楽しいと感じている。 ○勉強は大切だと感じている。 ●勉強が好きではない児童の割合が高い。 ●宿題が無ければ過程で学習しない児童の割合が高い。 ●高学年になるにつれて睡眠時間が少なくなる傾向にある。</p>	<p>・各教科の分析で明らかになった課題を解決するための授業改善を行い、さらに分かる授業の創造に努める。 ・勉強の目的や達成感が感じられるように、日々の授業や家庭学習を工夫する。 ・自主学習ノートを交流し、教師や児童同士で肯定的評価を行うことで、自主学習に対する意欲を高めるとともに、家庭と連携し、家庭学習の質的な向上を図る。 ・睡眠の大切さについて、年間を通して指導を行うとともに、家庭と連携を取り、発達段階に応じて望ましい就寝時間を設定する。</p>